

ニュースレター No.19

発行：2002年6月

◆入間・樹林の会 「国分寺崖線ウォーク開催！」

入間・樹林の会では、5月19日（日）に調布から世田谷につながる国分寺崖線の観察会を行いました。せたがやトラスト協会植物ボランティアの方10名にご協力頂き、世田谷区の保全活動について紹介してもらいました。また調布市内は入間・樹林の会のメンバーが案内しました。3グループに分かれ、神明の森みつ池を外からながめ、「なかんだの坂市民緑地」、成城三丁目緑地、喜多見不動尊と歩きながら、それぞれ案内をうけました。なかんだの坂は地主さんと20年間の管理委託契約を結び、トラスト協会とボランティアが保全しています。急な斜面の土留めに竹を利用することや垣根作りなどは参考になります。三丁目緑地は、1.8万㎡の広大な土地で、湧水もあり小学校の総合学習や児童館の子どもたちなど、子どもとの関わりを楽しんでいるとのことでした。昼食は、国分寺崖線のグリーンベルトを眺めながら、きたみふれあい広場でとりました。午後は、調布側の案内で、入間公園、雑木林の道、入間町の樹林地から実篤公園までの崖線を歩きました。



なかんだの坂市民緑地



入間町樹林地の説明

暑いぐらいの日差してでしたが、36名が参加し、成城学園前から実篤公園解散までの約14キロの道のりを歩きました。実篤公園では、トラスト協会から入間樹林地について感想やアドバイスをもらい、予定より30分遅れて、3時半解散となりました。

入間・樹林の会は、毎月第3日曜日を活動日にしています。活動日の前には誰でも参加できる世話人会を開いて会の運営をしています。今年は、市が保安全管理のための道具を購入します。本格的な保全や将来像について、今一度話し合う必要があります。毎回参加者は、増減しますが、入間・樹林の会として継続的に保安全管理活動に関わる人は残念ながら減ってきています。『みんなが行きたくなる樹林地』をめざしてもっと多くの人に関われるように呼びかけを広げていくことも活動のひとつです。そして、雑木林の植物や動物などについてまだまだ学び続けることも大切です。みんな集まれ、入間・樹林の会へ！
※イベント情報欄に次回の活動を紹介しています。

入間・樹林の会 年間計画表

6月	方形柢調査
7月	マテバシイ伐採
8月	夏休みの宿題教室
9月	方形柢調査
10月	周辺樹林地の観察会
11月	落ち葉だめづくり
12月	リースづくり、芋煮会
1月	野鳥調査
2月	管理作業（落ち葉はき）
3月	活動まとめ

●ちょうふの自然

環境モニター歴1年の経験から見た 調布の自然

【国領】 布田崖線の上から品川道をはさむ地域には農家も多く見受けられ、広い敷地には屋敷林も多く、また羽毛沿いには雑木林の名残りが色濃く、ケヤキの大木にはヤドリギがへばりついており冬鳥のレンジャクが来るのを楽しみにしております。



キレンジャク

【染地】 昭和40年代から50年代にかけて大型団地が出来たことから自然環境は乏しいのではとの先入観でいたが、30年の時を経た現在は木々が大きく成長し、適当に人の手がはいった緑地や空地には野草が根を張り、さしずめ[現代風、街中の里山]といったら言い過ぎかというぐらいの風情です。

←「ちょうふの自然」は、調布の自然を調べている環境モニター活動の参加者の紀行文です。

一 内 容

入間・樹林の会
調布市内の活動報告
特集「ほたる」
イベント情報

調布市内での活動報告！

布田崖線緑地を考える市民の会

上石原若宮八幡神社の近くに布田崖線緑地があります。「はけ」と呼ばれる斜面と、府中用水に挟まれた細長い緑地です。平成12年の夏、この緑地の利用についてワークショップが立ち上げられました。この夏でまる2年になります。

初めは現地を見学した後、みんなで夢を膨らませていきました。その後は「布田崖線」そのものについて学んだり、昔の様子などを調べたり、現地で実際に遊んだりしてきました。12年の冬、日向ぼっこが気持ちの良い日にイベントを催して多勢の大人や子どもが集まって遊びました。これまでに、近隣の学校や保育園、他の公的施設を通じてお知らせをしながら、数回のイベントを開催してきました。

会の名称は「布田崖線緑地を考える市民の会」でスタートしてきましたが、日頃親しみを込めて「凸凹市民の会」と呼んでいます。このネーミングについても、子どもからお年寄りまでが馴染みやすいものにしたいなあと思っています。この場所で過ごし、この場所のよさを理解し、前向きな気持ちで維持管理についても関わっていこうという気持ちを持ってくれる人が、地域の中から少しずつでも増えていってほしいです。

地域の人たちにとって活動がわかりやすく、参加しやすいように、今年度は毎月第4日曜日を開放日しようということになりました。まだまだ、安全で居心地の良い場所になるまでには、さまざまな問題を解決していかなければならないのですが、そのプロセスを大切にしていこうというのが私たちの気持ちです。人も生き物も来てみて気持ちのよい自然な空間づくりに挑戦しつつ、いつまでも護っていききたい場所です。

環境モニター活動

5月11日、10時集会で、新規モニター募集のためのオリエンテーションを行った。27名の参加で、7名が初参加。モニターKさんの司会進行で、Eさんが新規モニターへの参加を呼びかけた。まず調布の自然のビデオを見た。きっと参加者は調布にも自然がまだあると感じたことでしょう。その後、3班に分かれて、20分程観察会をした。



5月13日の連絡会議では、6月8日の環境フェアに参加し、当日ガイドウォークを午前と午後の2回実施し、調査結果を展示することに決まった。また、年間の調査方法を考え直すこと、市内の樹木で「私の気になる木」を調査することなど話し合った。

雑木林塾

4月23日に富士見地域福祉センターで、富士見町地区協議会、雑木林塾生、行政の3者でどんぐり林公園の今後について話し合いを行いました。林が暗くて子どもが遊べない、鍵の管理方法などの問題が出され、7月14日(日)に現地観察会を行うことを決めました。

5月17日には雑木林塾の今年度の取り組みについて検討しました。雑木林塾OBとして今後も当分の間どんぐり林公園の管理には関わっていくこと、一方で新しいフィールドを使って新たな講座で環境保全に関わる人を広げていくことを確認しました。雑木林塾OBとして6月15日にどんぐり林で観察会を行います。今年度のフィールドについては環境モニターに候補地を挙げてもらうよう依頼することになりました。今年度塾の運営に多くの人に参加して下さるようお願いします。

ちゅうふ DE 田んぼ日記その13「まずは苗床作りから！」

田んぼの学校もいよいよ本格的に始まりました。各々家で種粃の準備をし、4月28日に畦の草刈り、苗床作り、1~2mm芽を出した粃の種まきをしました。外敵を防いだり、乾燥を防ぐ寒冷紗という網をかけ、苗床のまわりに水を張って一段落。すかさずカルガモのつがいや飛来し、餌をついばんでいました。心配されたカモによる被害も最小限におさまり、5月12日のレンゲの刈り取りのときには発芽した苗も無事5cm程に成長していました。6月中旬の田植えまでには、堆肥を入れて荒起こし、畦からの水漏れを防ぐための畦塗りのくろつけ、底からの水漏れを防ぐためのしろかきと作業が続きます。荒起こしの真似事ですすでに音をあげている通信員は少々及び腰です。(受講生兼通信員 中原)



苗床に種を蒔いている様子

特集 ホ・ホ・ホタル来い…

「蛍」

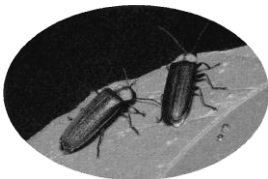
ホタルの舞う時期が近づいてきています。調布でも、6月になると深大寺自然広場(深大寺東町1丁目)で、ホタルを見ることができます。さらにこの時期、野草園ではホタル観賞会が催されます。(日程は直前に調布市ホームページと三大新聞でお知らせします。) 私たちを和ませてくれるホタル。そのホタルについてちょっと調べてみました。(※取材協力：緑と公園課)

ゲンジボタルの一生

卵

卵の直径は0.5^{ミリ}。始め黄色で、だんだん黒くなり、約1ヶ月後孵化し、幼虫となって水の中に入る。

産卵：6月



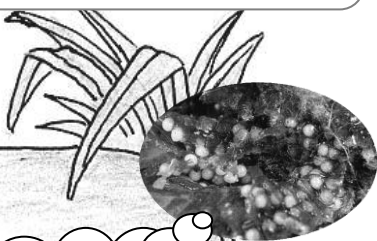
成虫

(体長：メス18^{ミリ}、オス15^{ミリ})
成虫の寿命は10日～2週間。えさは食べずに、水を飲むだけです。



オスは2節、メスは1節 発光する。交尾の後、川岸のコケ等に産卵する。1匹のメスは500～1000個の卵を産む。
※ 気温が高く月明かりのない曇った日で、風のない夜、活発に活動します。夜8時ごろが活動のピークです。

発光するのは成虫の時だけではありません。卵・幼虫・さなぎの時も光っています。



羽化：6月

幼虫

1匹の幼虫がさなぎになるまで、約30匹のカワニナを食べる。6回の脱皮を繰り返し、4月の

上陸：翌年4月
(体長：25^{ミリ})

さなぎ

上陸して土にもぐり、土まゆを作り、約40日でさなぎになる。さらに10日後、羽化が始まり、羽化後3～4日目に地上に出てくる。

孵化：7月
(体長：1.5^{ミリ})

ゲンジボタルが生きていくためには、きれいな水の流れがあり、その水辺に土があり、草が生えていて、多くのカワニナが生息するといった条件が必要です。調布にはホタルのすめる環境はほとんどありません。このような環境をつくり、守っていくことが、毎年私たちを楽しませてくれるホタルへのご恩返しではないでしょうか…

グループ紹介 その1

ちようふ環境市民懇談会

① 目的

この会は、市民、事業者、行政のパートナーシップにより、今ある自然を大切にしながら全市的に自然環境を保全・改善・回復し人と自然との多様なかかわりを工夫し、自然と共生する調布をつくることをめざした「しくみ」です。

② 設立の経緯

調布市自然環境保全基本計画に基づき、有志による設立準備会の会合を経て、2000年11月に、設立シンポジウムを開催し、参加者の合意により本会が設立しました。

③ これまでの主な活動

連絡会議、ニュースレターの発行、入間・樹林の会や雑木林塾などのプロジェクトの設立・支援、シンポジウム

開催

④ これからの活動予定

これまでと同様の活動以外は未定です。みんなで話し合いながら決めていきます。

⑤ ひと言アピール

ちようふ環境市民懇談会では、ニュースレターによる情報発信、メーリングリストによる情報交換、意見交換などを行なっています。インターネット環境をお持ちの方は、4ページ下のメールアドレスへニュースレター希望、メーリングリスト参加希望とお書きのうえ、お申し込み下さい。電話でもお受けいたします。

また、毎月1回連絡会議で話し合いをしています。どなたでもご参加下さい。

⑥ 問合せ先

調布市環境部環境保全課

参加しませんか？

● 環境フェア開催

～見直そう今までの暮らし、考えようこれからの暮らし～
 日 時：6月8日(土) 10:00～15:00
 場 所：調布駅南口前広場
 市民、事業者、行政が協働して調布の環境への取り組みをPRします。ニュースレターでおなじみの活動グループも出展を予定しています。
 ※10:00～と13:30～の2回(各2時間程度)、環境モニターが調布駅から布田周辺の自然を案内する「ガイドウォーク」も予定しています。ぜひご参加ください。(1回30名、先着順)

● 雑木林塾OB会 ～どんぐり林のその後～

日 時：6月15日(土) 9:30～12:00
 集合場所：どんぐり林公園(富士見町3丁目)
 持ち物：筆記用具、図鑑等(小雨決行)
 昨年度講座のフィールドとして利用したどんぐり林公園を久しぶりに訪れてみます。落ち葉だめの様子、下草の様子を観察し、地域とのかかわり方について話し合いをします。
 (一般の方の参加も受け付けます。)

● 入間・樹林の会活動日

日 時：6月16日(日)
 9:30～15:00 予定
 集合場所：入間地域福祉センター
 持ち物：筆記用具、弁当、水筒、軍手、虫除け対策など
 方形枠の植生調査を行い、保全作業(林内の落ち葉の除去)を行います。

● 雑木林塾「樹林地調査」

日 時：6月22日(土)
 10:00～15:00 予定
 集合場所：青渭神社
 持ち物：筆記用具、弁当、水筒など
 今年度の連続講座のフィールドを決めるための樹林地調査を行います。植物や野鳥などの生き物や林の印象といった感覚的な記録をとります。

● サポーター募集！

野川・里山探検隊では、子供たちの学習活動を支援してくれるサポーターを募集します。※要申込
 日 時：6月29日(土)
 9:30～15:30 予定
 集合場所：野川細田橋
 持ち物：筆記用具、弁当、水筒、靴
 ※川に入れる服装(長ズボン、靴)

<会議のスケジュール>

日 時	場 所	活動名/内容
6月3日(月) 18:30～20:30	市役所3階 第1会議室	環境モニター 世話人会 今年度の活動方針や環境フェアへの取り組みについて
6月4日(火) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	入間・樹林の会 世話人会 次回の活動へ向けての準備作業と検討
6月5日(水) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	環境市民懇談会 臨時会議 懇談会のしくみを整理し今年度の方針について検討
6月10日(月) 18:30～20:30	市役所3階 第1会議室	環境モニター 連絡会 これまでの調査をふりかえり、今後の活動について検討
6月14日(金) 18:30～20:30	市役所3階 第1会議室	環境市民懇談会 連絡会議 情報交換や今年度の取り組み、今後の具体的な進め方について
6月19日(水) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	雑木林塾 運営会議 講座の対象地を選ぶための調査方法を検討

ちょうふ環境市民懇談会では、日常的に情報の交換を行うためにメールリングリストも利用しています。お気軽にご参加ください。
 お問い合わせは尾辻(e-mail: kp5y-otj@asahi-net.or.jp)まで
 ©ニュースレターが不要な方は環境保全課までご連絡ください。

その他の情報

■ 環境学習プログラムを一緒に作ってみませんか

調布市ではNPOに委託し、小・中学校の「総合的な学習の時間」を支援するための環境学習プログラムの作りと環境学習支援者の養成を行います。

このプログラム作成の企画や調査を一緒にしていただける、市の自然に関心のあるスタッフ(有償)とボランティアを募集します。詳細については下記のとおり説明会を実施しますので、ご連絡のうえご参加ください。当日参加できない方もご連絡いただければ別途説明します。

日 時：6月12日(水) 午後2時～
 場 所：文化会館たづくり11階1103会議室
 申・問：調布市環境保全課0424-81-7086

ニュースレター18号、P3特集のページに誤りがありました。ハルジオンとヒメジョオンの記述が逆になっていました。ご指摘ありがとうございます。

◆ 次回ニュースレター編集作業 ◆

日 程	内 容	どなたでも参加できます。初心者でもパソコンの使い方なども含めて指導します。一緒にニュースを盛り上げましょう！
6月10日	編集会議	
6月17日	編集作業	
6月24日	発送作業	

場所未定、時間は13時30分から2～3時間程度
 事前に環境保全課へお問合せください。

編集後記

なれないパソコンを教えていただきながら編集作業を行いました。私が入力するより別の人がやった方が早いんじゃないかと思いつつ…。◎ 今までwさんと2人で作っていたのを今回は編集会議から有志が3名集まりました。遠慮の多いSさん、パソコンの先生をやるには忍耐力が必要とWさん、笑いっぱなしのIさんと楽しい編集作業でした。☺

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 荒井・倉林
 TEL：0424-81-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp
発行：ちょうふ環境市民懇談会